

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	言語教育研究センター
大項目	11 教員・教員組織
中項目	
小項目	11.0.1 大学として求める教員像および教員組織の編制方針を明確に定めているか。
要素	教員に求める能力・資質等の明確化 教員構成の明確化 教員の組織的な連携体制と教育研究に係る責任の所在の明確化
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置（院・専院）
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント(FD)の実施状況と有効性

○2009年度からの目標

1. 「言語教育の全学的体制に係る人事構想」に基づく言語教育担当教員の構成の枠組みを2013年度までに再設定する。
2. 各言語の教育の質向上と全学提供体制の改善のために、ST比の改善を図る。
3. 常勤講師の採用活動を円滑に進めるための関係規程を2012年度を目途に整備する。
4. センターとしてのFDの場であるセンター会議、語種ごとのFDとしての各語種別懇談会を定期的に開催する。

○指標

1. 現在の「言語教育の全学的体制に係る人事構想」に代わる新たな枠組みの創設。
2. 各言語におけるST比。専任教員・常勤講師の増員数。
3. 「言語教育常勤教員に関する規程」その他、関係諸規程の改定。
4. センター会議、各語種別懇談会の開催数。参加者数。成果報告。